

# 平成26年度行動指針に基づく取組実績 (一覧)

平成26年度行動指針に基づく取組実績(一覧)

行動指針	事業名	主体機関	連携機関	平成26年度実施内容	平成26年度に生まれた成果 または自己評価	26年度 (計画)
②	とっとり産業フェスティバル2014&鳥取環境ビジネス交流会2014～見て 触れて 感じてください ととりの技術～	・とっとり産業フェスティバル2014＝同実行委員会 ・鳥取環境ビジネス交流会2014＝鳥取県	産：鳥取県商工会議所連合会、鳥取県商工会連合会、鳥取県中小企業団体中央会、(公財)鳥取県産業振興機構 学：鳥取大学、鳥取環境大学、鳥取短期大学、米子工業高等専門学校、(地独)鳥取県産業技術センター、鳥取大学振興協力会 金：山陰合同銀行、鳥取銀行 官：米子市、境港市、鳥取県	日時 平成26年9月26日(金)、27日(土) 場所 米子コンベンションセンタービッグシップ 来場者数 1,222名 内容 基調講演、医工連携を考えるセミナー、企業展示、研究発表、ものづくり道場等	鳥取県内の事業者の製品・技術・サービス、研究機関等の技術・シーズ・活動等を一堂に集めて展示し、県内外へ情報発信し、企業や一般県民の皆さまに広く知ってもらおうとともに、企業・研究機関等との交流を促進した。企業等展示72団体、研究展示30ブース、ポスター発表37件の展示等により、1,222名の来場があった。	継続しない
①	地域イノベーション戦略支援プログラム	とっとりバイオイノベーション推進協議会	産：鳥取県商工会議所連合会、鳥取県商工会連合会、鳥取県中小企業団体中央会、(公財)鳥取県産業振興機構(総合調整) 学：鳥取大学、(地独)鳥取県産業技術センター 金：鳥取銀行、山陰合同銀行、鳥取信用金庫、米子信用金庫、日本政策金融公庫鳥取支店 官：米子市、境港市、鳥取県	・11月に外部評価委員会を開催し、事業化に向けた有識者による意見交換を実施した。 ・県内バイオベンチャー企業に対し、研究開発費補助、低利融資制度、バイオフロンティア入居料補助等の支援を実施した。	・大学と企業の橋渡し役であるプロジェクトディレクターやコーディネーターの配置により、事業化推進に向けた体制が強化された。 ・県内バイオベンチャー企業において、国のバイオ医薬品開発プロジェクトへの参画や大手バイオ関連メーカー等との業務提携等事業拡大が進んだ。	継続実施
①	さんさんコンソ新技術説明会	中国地域産学官連携コンソーシアム(さんさんコンソ)	9機関 JST、 鳥取大学、岡山大学、岡山県立大学、岡山理科大学、広島大学、県立広島大学、広島市立大学、山口大学	○10月31日(金)、JST東京別館ホール(東京・市ヶ谷) さんさんコンソ8校より、ライフサイエンス、情報・通信、ものづくり、省エネ・環境、計測・分析分野の8テーマについてプレゼンテーションした。 (来場者408名)	○共同研究等のマッチングに向けてフォローアップ中。	(継続実施)
①	「中国地域版 産から学へのプレゼンテーション」	JST、 中国地域産学官連携コンソーシアム(さんさんコンソ)	3機関 学：2大学(岡山大学、鳥取大学) 産：1機関(経済産業省中国経済産業局)	12月16日(火)、岡山コンベンションセンター ○企業6社からニーズを発表し、延べ220名の大学等関係者が参加した。(参加機関：中国地域に加え、東北地域、関東地域、中部地域、近畿地域、四国地域域の大学・高専 研究機関 支援機関)	○企業からのニーズ発信を受け、個別に大学等からシーズ発信を行い、共同研究等のマッチングに向けてフォローアップ中。 効果大。	(継続実施)
②	知財教育セミナー	中国地域産学官連携コンソーシアム(さんさんコンソ)	3機関 学：2大学(岡山大学、鳥取大学) 産：1機関(経済産業省中国経済産業局)	○知財基礎教育、特許実務教育、特許検索基礎教育、特許検索実務教育、インターンシップ実務実習 延べ347名が参加	○産学官延べ347名が受講。25年度よりも受講者が増加し、ニーズと評価大。 ○講義を鳥取大学、鳥取大学東京オフィス、福山大学、松江高専にWeb中継。 ○兵庫県、香川県、愛媛県からも受講。	(継続実施)
①	技術シーズ育成支援事業	公益財団法人しまね産業振興財団	5機関 産：県内産業界各社 学：島根大学、松江高専、島根県立大学 官：(公財)しまね産業振興財団、島根県	大学・高専等の有する優れた研究シーズをもとに、本格的な研究、開発の前段階として、事業化の可能性を見極めるための試験研究を実施。(6件)		継続実施

平成26年度行動指針に基づく取組実績(一覧)

行動指針	事業名	主体機関	連携機関	平成26年度実施内容	平成26年度に生まれた成果 または自己評価	26年度 (計画)
①	MOTセミナー	島根県	8 機関 産：県内産業界各社 学：島根大学、松江高専 官：島根県、松江市、出雲市、松江商工会議所、出雲商工会議所、(公財)しまね産業振興財団	中小企業が市場の条件・競合の状況・自社の持つ強みなどを検証し、自社の経営資源を活かして独自製品や技術を開発し、事業として進めていくための心構えや手法について講義	県内製造業等の技術開発や産学官連携に対する理解の促進	継続実施
①	しまね新技術創出セミナー	松江工業高等専門学校	産：(一社)松江テクノフォーラム(山陰クボタ水道用材株式会社、株式会社ワコムアイティほか 合計93団体で構成。) 学：松江工業高等専門学校 官：(公財)しまね産業振興財団	○日時:平成26年度7月11日 ○場所:サンラポーむらくも ○内容 ・プレゼンテーションコンテスト ・エンジニアリングデザイン発表会 ・交流会	松江高専における研究成果等を県や県内企業に周知することで産学官の交流が深まった。	継続実施
①	しまね大学発・産学連携ファンド	株式会社山陰合同銀行	学・・・島根大学 金・・・ごうぎんキャピタル株式会社 REVICキャピタル株式会社	・しまね大学の保有する研究シーズや知的財産権等を活用し、新たなビジネスに挑戦する経営者やベンチャー企業家等へ投資を行う投資事業有限責任組合を設立した。	・H27年1月1日の設立。 ・投資実績はH27年5月末現在ではない。	継続実施
②	しまね大学発・産学連携ファンド	株式会社山陰合同銀行	学・・・鳥取大学 金・・・ごうぎんキャピタル株式会社 REVICキャピタル株式会社	・とっとり大学の保有する研究シーズや知的財産権等を活用し、新たなビジネスに挑戦する経営者やベンチャー企業家等へ投資を行う投資事業有限責任組合を設立した。	・H27年1月1日の設立。 ・投資実績はH27年5月末現在ではない。	継続実施
①②③	岡山・産学官連携推進会議	岡山県、(公財)岡山県産業振興財団	<b>29 機関</b> 産：岡山県経済団体連絡協議会、岡山県商工会議所連合会、岡山県経営者協会、(社)岡山経済同友会、岡山県中小企業団体中央会、岡山県商工会連合会 学：岡山大学、岡山県立大学、岡山理科大学、川崎医科大学、倉敷芸術科学大学、津山工業高等専門学校、岡山商科大学、川崎医療福祉大学、吉備国際大学、中国学園大学、就実大学、中国職業能力開発大学校、新見公立大学 官：中国経済産業局、岡山県、岡山県市長会、岡山県町村会 その他：日本政策投資銀行岡山事務所、日本貿易振興機構岡山貿易情報センター、(公財)岡山県産業振興財団、(一社)システムエンジニアリング岡山、(社)中国地域ニュービジネス協議会、(独)中小企業基盤整備機構中国本部	○岡山・産学官連携推進会議幹事会 開催回数:年4回(ワーキンググループ含む) 内容:産学官の実務者レベルで構成する幹事会において、産学官連携の情報共有や事業の企画を実施 ○産学金官連携セミナー 日時:平成27年1月9日(金)15:00~17:00 場所:岡山ロイヤルホテル 内容:産学官連携による地域イノベーションの創出 ○産学官連携交流会 日時:平成27年2月23日(火)10:00~19:00 場所:まなび広場にいみ 内容:各機関の産学官連携の取り組み紹介、情報交換、工場見学 等 参考URL: <a href="http://okayama-sangakukan.jp/">http://okayama-sangakukan.jp/</a>	産学金官の取り組みについて、金融機関との連携強化というテーマが翌27年度の新規事業である金融機関向けの産学金官連携研修会につながる取り組みとなった。	継続実施

## 平成26年度行動指針に基づく取組実績(一覧)

行動指針	事業名	主体機関	連携機関	平成26年度実施内容	平成26年度に生まれた成果 または自己評価	26年度 (計画)
①	岡山大学連携型起業家育成施設 (岡山大インキュベータ) 入居者支援事業	[実施事業者] 岡山市	産：岡山大インキュベータ入居企業 学：岡山大学 官：中小機構、岡山県、岡山市	岡山大インキュベータ入居企業への賃料補助を実施し、産学官で大学発ベンチャーの起業や中小企業の新事業展開を支援。	岡山大インキュベータ入居企業であるダイヤ工業㈱が商品化した握力支援グローブ「パワーアシストグローブ」が、岡山市の介護機器モデル事業に認定され、平成26年2月から岡山市内でレンタル開始。	継続実施
②	産学連携研究開発支援事業	[実施事業者] 岡山市	産：岡山市内企業 学：中国地域産学官連携コンソーシアム 官：岡山・産学官連携推進会議、岡山コーディネート連絡会、(公財)岡山県産業振興財団、岡山市	「産学官連携・交流セミナー」、及び「産学官連携推進セミナー」を開催し、市内製造業の開発を支援。	セミナーや交流会を通して、市内製造業に対する開発のヒントとなりそうな情報を提供したり、各テーマに基づいた情報交換の場を提供。	継続実施
③	(一社)岡山工業会主催の情報交換会	[実施事業者] (一社)岡山工業会	産：(一社)岡山工業会及び会員企業 学：岡山大学、岡山理科大学、岡山県立大学、岡山県高等学校工業教育協会 官：岡山大インキュベータ、(公財)岡山県産業振興財団、岡山県工業技術センター、岡山市	年2回、情報交換会を実施し、産学官の連携関係を強化。	産学官のフェイストゥーフェイスの関係構築に寄与。	継続実施
①	岡山大学 知恵の見本市2014	岡山大学	産学官金41機関	○11/14 岡山大学創立五十周年記念館で開催。 講演1、展示74ブース、	○岡山大学の研究成果に対する理解増進	(継続実施)
①③	医療展示会「中央西日本メディカル・イノベーション」	岡山大学	12機関： 経済産業省中国経済産業局、岡山県、岡山市、中国経済連合会、(一社)中国地域ニュービジネス協議会、(公財)岡山県産業振興財団、(NPO)メディカルテクノおかやま、メディカルネット岡山、ハートフルビジネスおかやま、岡山県医用工学研究会、おかやま生体信号研究会、(株)中国銀行	○2月17日～18日 岡山大学鹿田キャンパス(Jホール) 展示35ブース、プレゼンテーション(研究シーズおよび医療現場ニーズ)16テーマ、講演5	○引き続きフォローアップを実施。 産業界から高い評価。	(継続実施)
③	国立6大学連携コンソーシアム 新技術説明会	国立六大学連携コンソーシアム (千葉大学、新潟大学、金沢大学、岡山大学、長崎大学、熊本大学)	9機関： 千葉大学、新潟大学、金沢大学、岡山大学、熊本大学、長崎大学 JST、(独)中小企業基盤整備機構、全国イノベーション推進機関ネットワーク	○11月14日(金) JST東京別館ホール(東京都・市ヶ谷) 各大学の「計測・分析」「情報・通信」「環境・エネルギー」分野の研究成果10件をプレゼンテーション。 来場者 350名	○共同研究等のマッチングに向けてフォローアップ中。	(継続実施)

## 平成26年度行動指針に基づく取組実績(一覧)

行動指針	事業名	主体機関	連携機関	平成26年度実施内容	平成26年度に生まれた成果 または自己評価	26年度 (計画)
②	社会人教育 (MOTセミナー、振動技術教育)	岡山大学		<p>○MOTセミナー セミナー11回、MOT見学会2回を開催した。 これに加え、学生のためのMOT講座を4回開催した。 ○振動リカレント教育 6回開催した。 これに加え、振動音響技術懇談会を4回開催した。</p>	<p>○MOTセミナーについては、産業界の受講者24名に修了証を授与した。 ○振動リカレント教育については、産業界の受講者7名に修了証を授与した。 産業界から高い評価。</p>	(継続実施)
①	領域・研究プロジェクト	岡山県立大学	<p>15機関</p> <p>産:新日鉄住金、高砂熱学、岡山県工業技術センター、グローバルウェーハ、中国ゴム、国立障害者リハビリセンター、インタロボット、コアテック、日本電信電話</p> <p>学:東京大学、九州大学、ゲント大学、富山大学</p> <p>官:岡山県、真庭市</p>	<p>平成19年度から、研究と社会貢献活動のレベルアップを目指した異分野複数教員の連携による活動を推進している。平成26年度は「健康・福祉」「地域・環境」「モノ・コトづくり」の3重点領域の下に6プロジェクトを推進した。</p>	<p>新製品の企画・開発を促進するための産学協同」では、異業種協調の多面的・包括的な共同研究を行い、その成果は各種メディアを通じて地域発の事例として発信された。</p>	継続実施
②	アクティブ・ラボ	岡山県立大学	42企業・事業所、延べ46回訪問	<p>アクティブ・ラボ(出前研究室)は教員とコーディネータが企業・団体に出向き、研究シーズ紹介や情報交換を行うものである。日常的な技術相談や産業支援機関からの紹介により、訪問前に企業情報・概略を把握してから実施した。</p>	<p>平成26年度は実施件数、訪問企業数、実施教員数の全てで昨年度を上回る実績となった。また訪問先で意見交換をする中で企業側のニーズと本学のシーズがマッチして共同研究に到るケースもあった。</p>	継続実施
③	OPUフォーラム2014	岡山県立大学	<p>15機関</p> <p>産:ナカシマメディカル(株)、(株)フォーマルテック、コアテック(株)、富士ベークライト(株)、倉敷スクールタイガー縫製(株)、(株)マルト水産、(株)ハローズ、森下仁丹(株)、味の素(株)、シャープタカヤ電子工業(株)、(株)英田エンジニアリング</p> <p>官:総社市、笠岡市、備前市、真庭市</p>	<p>教員の研究紹介や地域の企業・団体・市民との交流促進を目的に毎年開催するものである。平成26年度は会場を岡山市中心部に移し、「出会いをつくる～地域からの知の創造～」をテーマとし、本学の研究ニーズと産学官のマッチングを目的に実施した。</p>	<p>会場規模が縮小されたため、展示数が限られてはいたが、産、官それぞれの特別講演会、シーズ発見セミナー、教員、企業・団体等による交流会を実施した。全体参加者数は391人(うち外来者数176人)であった。</p>	継続実施

平成26年度行動指針に基づく取組実績(一覧)

行動指針	事業名	主体機関	連携機関	平成26年度実施内容	平成26年度に生まれた成果 または自己評価	26年度 (計画)
①	広島発高齢者見守り支援システム開発プロジェクト	広島発高齢者見守り支援システム開発プロジェクト推進協議会  〔事務局:広島市立大学 広島市〕	9機関  産:・・・NSウエスト株式会社 株式会社エフ・ウェイ 株式会社コア 中四国カンパニー シャープ株式会社 株式会社中国放送  学:・・・公立大学法人広島市立大学  官:・・・広島市 公益財団法人広島市産業振興センター  医:・・・広島市立広島市民病院	・みみスイッチ内蔵ワイヤレスイヤホンの開発  ・高齢者見守り支援システムの開発 (スマートフォン用アプリケーション及びコンテンツ)	○みみスイッチ内蔵ワイヤレスイヤホン(2次試作)の開発 ・1次試作品ではセンサー部と制御部別体型だったものを、2次試作では一体型に改良。 ・赤外線センサーや体温・脈拍センサー、無線通信基盤等を内蔵し、外耳道(そしゃく)、脈拍、体表温をセンシング。  ○高齢者見守り支援システムの開発 ・ワイヤレスイヤホンで収集した情報をスマートフォンへ発信し、スマートフォンで受信したデータを画面表示できる機能を開発。 ・スマートフォンで受信したデータをクラウドへ送信し、蓄積できるシステムを開発。	継続実施
①	技術シーズ企業ニーズマッチング事業	(公財)ひろしま産業振興機構	12機関(連携している機関数をご記入ください)  産:・・・県内中小企業者  学:・・・県内7大学、1高等専門学校  官:・・・広島県、(公財)ひろしま産業振興機構 広島市、東広島市、	大学等の研究内容を新産業に結びつける可能性を発掘するため、企業やコーディネーター等と大学の研究室等を訪問し、研究内容の説明を受けるとともに事業化に向けた意見交換等を実施した。	大学と企業との共同研究契約締結数件	検討中
①	産学金官マッチングイベント事業	【主催者】 東広島市産学金官連携推進協議会(東広島市、東広島商工会議所、黒瀬商工会、広島県中央商工会、安芸津町商工会、広島大学、近畿大学工学部、広島国際大学、東広島市金融協議会、独立行政法人産業技術総合研究所中国センター)	3機関 官:経済産業省中国経済産業局、広島県、公益財団法人ひろしま産業振興機構	産学金官の技術情報交流及び人的交流を促進し、新たなビジネスや販路拡大につなげることを目的に、大学等における研究活動・成果の紹介、産学金官連携等によって生まれた優れた製品の展示及び金融相談会などを行う、「東広島市産学金官マッチングイベント2014」を開催した。	・連携、ネットワーク構築、人的交流などの場の提供となり、情報発信力の強化に繋がった。 ・その後の連携(共同研究・開発)についても1件共同開発につながった例がある。 ・金融機関特有の機能を効果的に発揮できる取組の推進が課題。	継続実施
③	東広島発!ものづくり逸品認定事業	【主催者】 東広島市産学金官連携推進協議会(東広島市、東広島商工会議所、黒瀬商工会、広島県中央商工会、安芸津町商工会、広島大学、近畿大学工学部、広島国際大学、東広島市金融協議会、独立行政法人産業技術総合研究所中国センター)	-	産学金官連携等によって生まれた中小・ベンチャー企業の優れた製品を「東広島発!ものづくり逸品」として6件を認定し、東広島市産学金官マッチングイベントでの展示のほか、製品紹介パンフレット、東広島市のホームページ・広報誌・フェイスブック及び中国新聞の広告への掲載等のPR等により、販路拡大のきっかけづくりを支援した。	・本市の工業製品、加工食品等の情報発信力の強化につながった。 ・今後、金融機関特有の機能を効果的に活用できる取組を行っていきたい。	継続実施

行動指針	事業名	主体機関	連携機関	平成26年度実施内容	平成26年度に生まれた成果 または自己評価	26年度 (計画)
③	研究室訪問事業	<p>【主催者】 東広島市産学金官連携推進協議会（東広島市、東広島商工会議所、黒瀬商工会、広島県中央商工会、安芸津町商工会、広島大学、近畿大学工学部、広島国際大学、東広島市金融協議会、独立行政法人産業技術総合研究所中国センター）、公益財団法人ひろしま産業振興機構</p>	-	公益財団法人ひろしま産業振興機構と共催で、市内大学の研究内容を紹介する研究室訪問を実施した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携、ネットワーク構築、人的交流などの場の提供となり、情報発信力の強化に繋がった。</li> <li>・しかしながら、その後の連携(共同研究・開発)にはなかなか結びついていない。</li> </ul>	継続実施
②	産学連携人材育成支援事業	<p>【主催者】 東広島市産学金官連携推進協議会（東広島市、東広島商工会議所、黒瀬商工会、広島県中央商工会、安芸津町商工会、広島大学、近畿大学工学部、広島国際大学、東広島市金融協議会、独立行政法人産業技術総合研究所中国センター）</p> <p>【実施事業者】 広島大学、近畿大学工学部、広島国際大学、東広島市</p>	-	大学が有する知的資源を活かし、産業界で求められる技術・ノウハウ等を学ぶ社会人向けのリカレント講座を実施した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携、ネットワーク構築、人的交流などの場の提供となった。</li> </ul>	継続実施
②	研究会事業	<p>【主催者】 東広島市産学金官連携推進協議会（東広島市、東広島商工会議所、黒瀬商工会、広島県中央商工会、安芸津町商工会、広島大学、近畿大学工学部、広島国際大学、東広島市金融協議会、独立行政法人産業技術総合研究所中国センター）</p> <p>【実施事業者】 東広島市</p>	-	企業ニーズの高い分野の中から、デザインに関する研究会の活動を実施した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携、ネットワーク構築及び人的交流などの場の提供となった</li> <li>・具体的な成果の輩出が課題。</li> </ul>	継続実施

行動指針	事業名	主体機関	連携機関	平成26年度実施内容	平成26年度に生まれた成果 または自己評価	26年度 (計画)
①	ニーズ発信会事業	<p>【主催者】 東広島市産学官連携推進協議会（東広島市、東広島商工会議所、黒瀬商工会、広島県中央商工会、安芸津町商工会、広島大学、近畿大学工学部、広島国際大学、東広島市金融協議会、独立行政法人産業技術総合研究所中国センター）</p> <p>【実施事業者】 同上</p>	<p>1機関 官：広島県立総合技術研究所西部工業技術センター生産技術アカデミー、公益財団法人ひろしま産業振興機構</p>	<p>中小・ベンチャー企業が抱える技術課題等の解決を支援し、新事業展開や競争力強化を促進するため、企業のニーズと大学、研究機関及び金融機関のシーズの具体的なマッチングを図る、ニーズ発信会を実施した。</p>	<p>・連携、ネットワーク構築、人的交流などの場の提供となり、情報発信力の強化に繋がった。 ・その後の連携（共同研究・開発）につながったものが1件ある。</p>	継続実施
①	技術交流サロン事業	<p>【主催者】 東広島市産学官連携推進協議会（東広島市、東広島商工会議所、黒瀬商工会、広島県中央商工会、安芸津町商工会、広島大学、近畿大学工学部、広島国際大学、東広島市金融協議会、独立行政法人産業技術総合研究所中国センター）</p> <p>【実施事業者】 独立行政法人産業技術総合研究所中国センター、東広島市</p>	<p>7機関 産：中国経済連合会、公益財団法人ちゅうごく産業創造センター、一般社団法人中国地域ニュービジネス協議会、独立行政法人中小企業基盤整備機構 中国本部、広島中央サイエンスパーク研究交流推進協議会 官：総務省中国総合通信局、経済産業省中国経済産業局</p>	<p>「次世代自動車産業を支える2次電池」について、独立行政法人産業技術総合研究所の最先端の研究シーズを地元企業に紹介する技術交流サロンを実施した。</p>	<p>・産業技術総合研究所及び大学の有する研究シーズを紹介し、地域企業との連携強化を図ることができた。</p>	継続実施
②	起業家養成講座事業	<p>【主催者】 東広島市、広島大学、東広島商工会議所</p> <p>【実施事業者】 同上</p>	-	<p>日時：平成26年6月28日～7月12日（計7日間） 場所：コラボスクエア会議室 内容：「会社設立手順」「起業事例紹介」「資金繰りと資金調達」「ビジネスプラン作成実習」等 参加者数：32名（内修了者14名）</p>	<p>・広島大学、東広島商工会議所と連携し、起業しようとする人や起業間もない人への支援強化へと繋がった。 ・東広島市創業支援事業計画の特定創業支援事業として国からの認定を受けた。</p>	継続実施
①	産業クラスター等サポート金融会議を通じた金融機関の地域企業への支援モデルの開示	中国経済産業局、中国管内各金融機関	中国経済産業局、中国地域NBCのほか、各県産業振興財団や中小機構、JETROなどの支援機関	産業クラスター計画推進を金融機関の立場から積極的に支援するため、その具体的な方策等について、意見交換、検討を実施。	中小企業経営力強化支援法 認定支援機関である金融機関が「ものづくり補助金」等の研究・設備資金を活用して企業の競争力強化に繋がった事例を題材に、地域金融機関のリレーションシップバンキング意識・能力を一層向上	継続実施
①	「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」に基づく法認定	中国経済産業局	企業、公設試験研究機関、大学等	中小企業が目指すべき技術開発の方向性と将来ビジョンを「技術指針」として取りまとめ、その指針に基づいて行う特定研究開発等計画を支援	本法律に基づく研究開発計画の策定において、企業単独では解決できない技術的課題を大学等との連携による取組みによって解決する契機となっている。	継続実施



## 平成26年度行動指針に基づく取組実績(一覧)

行動指針	事業名	主体機関	連携機関	平成26年度実施内容	平成26年度に生まれた成果 または自己評価	26年度 (計画)
①	RubyWorld Conference	(一財)Rubyアソシエーション、 島根県、松江市、島根大学、 松江高専、ジェトロ松江、 しまね産業振興財団、島根県 情報産業協会、しまねOSS協 議会 、中国経済産業局	株式会社ネットワーク応用通信研究所ほか 各賛同企業	本会議を通じて新しい普及の段階に突入 しつつあるRubyが、多様な現実世界にど のように適合し、浸透していくのか、そのよ うな普及過程と成長を考える機会をユー ザーに提供した。	2009年から毎年開催され、産学金官から 多数の参加者を得て盛況を博しており、 Rubyの普及啓発に大きく寄与している。	継続実施
②	「オープンイノベーション促進事 業(中国地方運営協議会による 設備機器導入)による中国5県の 公設試への試験研究機器を設 置	中国経済産業局	中国5県、広島市の公設試験研究機関、産 総研	左記メンバーによる運営協議会及び幹事 会を設置、機器導入方針等を協議して機 器導入を行った。	地域の産業振興の推進及び新産業の創 出の一層の支援のため、導入機器につい ては県外・県内の利用料金を同額にして 広域利用を推進した。	未定
①	化学プロセスへの膜分離利用技術 研究会 (中国地域国立5大学連携事 業)	中国経済連合会 中国経済産業局	35機関  産：中国経済連合会、企業24社、(公 財)ちゅうごく産業創造センター  学：広島大学、山口大学、岐阜大学、工 学院大学、化学工学会  官：中国経済産業局、(独)産業技術総 合研究所、(公財)地球環境産業技術研 究機構	平成24年度に実施した「化学技術に関す る大学の研究成果の説明会」において、 企業の関心の高かった「膜分離法」に関す る研究をテーマに取り組み、平成26年度 は研究会を3回開催した。	・大学側からの最新の研究成果の紹介・ 意見交換による企業側の専門知識向上 ・山口大学・広島大学と5企業との間で、 事業化に向けた共同研究をH27年度に 開催することで合意した。	継続実施 (27年度に 共同研究を 実施)
②	第13回キャンパスベン チャーグランプリ中国	中国経済連合会	16機関  産：中国経済連合会、日刊工業新聞社  学：中国地域の各大学(大学院)、高等専 門学校、短期大学、専門学校	応募期間：平成26年9～10月 応募総数：14校・80件 表彰：最優秀賞2件 (テクノロジー部門、ビジネス部門) その他優秀賞など合計15件	・起業家精神の醸成 ※最優秀賞の1件(テクノロジー部門) は全国大会で日刊工業新聞社賞を 受賞	継続実施
③	ビジネスアイデア創出・プラン 作成セミナー	中国経済連合会	11機関  産：中国経済連合会、日刊工業新聞社  学：中国地域の9大学の学生32名、 大学の教員7名	日時：平成26年9月11日 場所：広島市 主な内容： ・講演(学生向け)：3件	・ビジネスプラン作成に対する基本的な知 識・ノウハウの取得・向上 ・キャンパスベンチャーグランプリ中国へ の応募に向けたプランのブラッシュアップ	継続実施

## 平成26年度行動指針に基づく取組実績(一覧)

行動指針	事業名	主体機関	連携機関	平成26年度実施内容	平成26年度に生まれた成果 または自己評価	26年度 (計画)
④	インテレクチャルカフェ	コラボレーションセンター (中国経済産業局・中国経済連合会)	9機関 産：中国経済連合会 学：広島大学、県立広島大学、広島市立大学、近畿大学、広島工業大学、広島国際大学 官：中国経済産業局、産業技術総合研究所	複数大学の共催で、各回ごとにテーマを設定して2回実施 ＜第1回＞ 日時：平成26年8月7日 主催：中国地域産学官コラボレーション会議 テーマ：再生可能エネルギー、水素  ＜第2回＞ 日時：平成26年11月21日 主催：中国地域産学官コラボレーション会議 テーマ：環境・医療・介護・防災・情報関連技術	・人的ネットワークの構築 ・大学技術シーズの情報発信	継続実施
①	広島大学知的財産セミナー『英文契約セミナー』	広島大学	中四国国立大学等	知的財産分野における企業法務の最前線を担う米国法律事務所の弁護士による、英文共同研究契約等の各条項の解説	中四国の国立大学等の契約担当等から30名程度参加があり、英文契約に係るスキル向上につながった。	継続実施
①	経済産業省産学連携評価モデル・拠点モデル実証事業『レーザ高度応用研究会』	広島大学 フェニックス協会の	産：研究会会員企業16社(社名非公開)、中国経済連合会、ATACひろしま 学：広島大学(フェニックス協会)、岡山大学、広島工業大学 官：広島県総合技術研究所、産業技術総合研究所中国センター、中国経済産業局、くれ産業振興センター	「地域の産学官金連携コンソーシアムの活動評価システムの構築」を目的とし、広島大学のレーザを用いた先進加工技術を起点として「レーザ高度応用研究会」を地域企業16社を中心に設立。金型等の付着物に対するレーザクリーニング技術や、従来困難な透明樹脂の溶接に関して検証を実施した。	・検証を進めた結果、金型他の汚れ除去や塗膜除去、表面特性の改善や透明樹脂の溶接等について一定の効果が見られ、今後へ展開出来る見通しが得られた。 ・参加企業16社にアンケートを実施したところ、研究会への参加や共同研究等での継続を望む企業が9社に達した。	継続実施
①	文部科学省科学技術人材育成費補助事業『科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業』	広島大学	代表機関：広島大学 共同実施機関：山口大学、徳島大学 連携機関：広島県、岡山大学、島根大学、鳥取大学、愛媛大学、香川大学、高知大学、鳴門教育大学、県立広島大学、広島市立大学、広島国際大学、立命館大学、産業技術総合研究所中国センター、産業技術総合研究所四国センター、酒類総合研究所、マツダ(株)、(株)サタケ、JFEスチール(株)、日本ハム(株)中央研究所、EYアドバイザリー(株)	「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」をテーマに中四国の国公私立大学、企業等がコンソーシアムを構築し、長期インターンシップ、シーズ・ニーズの出会いの場の提供、文理融合での人材育成等のプラットフォームの共有化により、博士人材、若手研究者を支援  ※『科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業』は、文部科学省が実施する事業で、複数の大学等でコンソーシアムを形成し、企業等とも連携して、若手研究者や研究支援人材の流動性を高めつつ、安定的な雇用を確保しながらキャリアアップを図る仕組みを構築することを目的とした事業	・博士課程後期、若手研究者等を対象に「コンソーシアム人材セミナー」を広島・山口・徳島で3回開催した。本セミナーは、連携機関の様々な分野で活躍している研究者等を講師として招き、企業の求める人材等の講演をいただくもので、各回30名程度の参加があった。 ・国際シンポジウム「博士の挑戦。グローバルな視点から地方創生と若手研究人材の役割を考える」を開催し、産学官から100名を超える参加者があった。また、博士課程学生及び若手研究者を対象にしたワークショップを開催し、40名程度の若手研究者等の参加があり、キャリア形成に必要な能力等について考えるきっかけとなった。	継続実施

## 平成26年度行動指針に基づく取組実績(一覧)

行動指針	事業名	主体機関	連携機関	平成26年度実施内容	平成26年度に生まれた成果 または自己評価	26年度 (計画)
①	文部科学省革新的イノベーション創出プログラム(COI)『精神的価値が成長する感性イノベーション拠点事業』	広島大学	産：マツダ(株)、シャープ(株)、三菱レイヨン(株)、中国電力(株)、(株)アンデルセン・パン生活文化研究所、コベルコ建機(株)、(株)神戸製鋼所、北村自動車(株) 学：広島大学、広島市立大学 官：産業技術総合研究所、広島県ひろしま産学共同研究拠点	平成25年度の採択を受けて、10年後の社会実装に向けた研究開発を実施している。  ※『精神的価値が成長する感性イノベーション拠点事業』は、物質的豊かさに加え、感性が新たな価値を創出・成長させ、アクティブ思考で「モノ」と「こころ」の豊かさの調和を実現できるハピネス社会の創造を目指す。それを実現するために、脳科学・光技術・情報通信技術を駆使して、感性(感情・知覚など)の可視化、人と人、人とモノを感性で繋ぐBrain Emotion Interface(BEI)の開発を行い、感性情報を活用して、衣・食・住・車・教育・医療など多様な分野で新価値を創出する。	本拠点における取り組みについて、連携機関以外にも広く知ってもらうため、公開シンポジウムを開始し、産学官から160名程度の参加があり、広島地域における『感性』に関わる研究開発の深化へのきっかけとなった。	継続実施
②	文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム事業『微細加工プラットフォーム』	広島大学		文部科学省のナノテクプラットフォームプロジェクトの一環として、広島大学(ナノデバイス・バイオ融合科学研究所・先端物質科学研究科)において、超微細構造形成のための支援を実施している。本学の所有する装置等の機器利用のほか、共同研究や技術相談等に対応している。	共同研究、機器利用、技術相談のほか、学生を対象にした研修プログラム、企業向けセミナー、企業・大学等の研究者を招いての講演会を実施している。	継続実施
②	文部科学省先端研究基盤・プラットフォーム事業『広島大学生体反応および生命維持機構検出システム研究促進事業』	広島大学		本学自然科学研究支援開発センターの有する生命科学機器分析施設にある設備を産業界の利用に共用することで、解析技術等の提供により産業界で多くの成果を得ることにより、生命科学分野における基礎からイノベーション創出、新産業創出を目指すもの。	マイクロアレイ解析装置、質量分析装置等の施設利用に係る課題募集を毎月実施している。利用形態は、有償利用、トライアルユース及び産学連携無償利用の3形態。26年度の利用企業等の成果は公表は、現在調整中である。	継続実施
②	科学技術振興機構地域産学官共同研究拠点整備事業『ひろしま医工連携・先進医療イノベーション拠点』	広島大学	産：マツダ(株)、三菱重工業(株)、湧永製薬(株)、ダイキョーニシカワ(株)、(株)東洋高圧、中国経済連合会、広島商工会議所 学：広島大学、県立広島大学、広島市立大学、近畿大学工学部、広島工業大学、広島国際大学、広島国際学院大学 官：広島県、広島市、ひろしま産業振興機構、ちゅうごく産業創造センター、産業技術総合研究所中国センター	本拠点に整備された研究機器の地域における共用化を支援するため、施設の利用促進に向けた施設見学会を開催し、研究機器の紹介や研究活動の広報に努めた。また、地域企業等の人材育成等を支援するため、「いのべものづくり士」等の講座を開催した。	機器利用実績の一例として、実車ドライブシミュレーターは40回程度、振動音響測定用ワークステーションは250回程度の利用実績があった。施設見学会については、35件、83名の参加があり、機器利用の促進につながった。また、人材育成講座は、全講座で延べ500名を超える参加があった。	検討中
③	広島大学新技術説明会(東京)	広島大学	主催：広島大学、科学技術振興機構	科学技術振興機構との主催により、アグリ・バイオ、医療・福祉等のライフサイエンス分野から9名の研究者がプレゼンテーションを実施した。	各プレゼンテーションの聴講者数は、述べ324名の参加があり、共同研究等に向けてフォローアップを実施中である。	継続実施

## 平成26年度行動指針に基づく取組実績(一覧)

行動指針	事業名	主体機関	連携機関	平成26年度実施内容	平成26年度に生まれた成果 または自己評価	26年度 (計画)
③	広島大学新技術説明会(広島)	広島大学	主催: 広島大学 連携機関: 県立広島大学、広島市立大学、広島工業大学、広島国際大学、近畿大学工学部	毎年、広島地域の企業等に向けて研究シーズを発信するために開催している新技術説明会を県内5大学と連携して開催し、本学から9件、連携大学5件のプレゼンテーションを実施した。	産学官から120名程度の参加が得られ、引き続きフォローアップを実施中である。なお、次年度以降の県内大学と連携した開催については、未定である。	継続実施
③	広島大学研究成果集及び統合技術情報発信システム「ひまわり」	広島大学		本学研究成果集を更新し、デジタル版と冊子版を発行した。また、合わせて技術情報発信システム「ひまわり」の掲載データを最新版に更新した。	平成26年度末現在で、730件程度の技術シーズを掲載、発信している。	継続実施
①	産総研本格研究ワークショップ in おかやま	(独)産業技術総合研究所 中国センター	8機関 産: 中国経済連合会、(公財)ちゅうごく産業創造センター、(一社)中国地域ニュービジネス協議会、(独)中小企業基盤整備機構中国支部 学: 国立大学法人岡山大学 官: 中国経済産業局、岡山県 金: (株)商工組合中央金庫岡山支店	産総研は、地域経済活性化に資するべくオープンイノベーションハブ機能の強化を目指す一環として、オール産総研の研究シーズを地域に紹介し、地域の課題解決に貢献することを目的に「産総研本格研究ワークショップ」を開催。  (平成26年度の概要) テーマ: 地域を元気にする産総研との連携 日 時: 平成27年2月24日(火) 13:00~18:30 会 場: ホテルグランヴィア岡山(岡山市) 参加人数: 210名  ※ポスターセッション、技術相談コーナー開設	地域企業の課題と産総研シーズとの連携事例の紹介等により、企業との連携や関係機関との連携強化が図られた。	継続しない
①	ものづくり講演会	くれ産業振興センター	2機関 産: 呉自社商品開発協議会(共催) 官: 呉市(後援)	計1回実施  「飛ばせ有翼ロケット~九州工業大学の挑戦~」 講師: 九州工業大学 大学院工学研究院 機械知能工学研究系宇宙工学部門 教授 工学博士 米本 浩一 氏 日時: 平成26年5月21日(水)15:00~16:20 場所: ビューポート呉 3F大ホール	呉市内外の産学官82名様が参加された。講演の内容は、研究成果だけではなく、産学官連携での研究のエピソードや今後の展望、呉地域企業へのご提言を頂けるものであった。  また、講演会後には引き続き、共催の呉自社商品開発協議会(異業種交流団体)の総会・交流会が開催され、講師を含め、参加者の皆様が意見交換や交流を深めていただくことができた。	継続実施
①	自動車分野医工連携研究会	広島大学 産学・地域連携センター	7機関 産: 学: 広島大学、呉高専 官: ひろしま産業振興機構	「磁界共鳴式非接触充電システムの研究開発」	2件の論文を公表した。	継続実施

行動指針	事業名	主体機関	連携機関	平成26年度実施内容	平成26年度に生まれた成果 または自己評価	26年度 (計画)
③	マイクロウェーブ展	電子情報通信学会	呉高専単独で出展	「超高周波帯伝送線路と高安定発振器」	多くの技術相談を得た。	継続実施
③	スマートシティーワーク ショップ	電気学会	産：日立研究所 学：呉高専、宇都宮大、兵庫県立大	インドバンガロール及びチェンナイにて印 日の研究者が集い、スマートシティコンセ プトに関して議論した。	多くの情報を得た。次年度はマレーシアで 同シンポジウムを開催する。	継続実施
①	広島市立大学産学連携研究発 表会(2014年度リエゾンフェスタ) ～今、感性がすごい～	公立大学法人広島市立大学 広島市	産:6 マツダ(株)、中国経済連合会、(公財)ちゅうごく 産業創造センター、(一社)中国地域ニュービ ジネス協議会、広島商工会議所、(一社)広 島県発明協会 官:7 中国経済産業局、中国総合通信局、広島 県、(独法)産業技術総合研究所中国セン ター、中国経済連合会、(公財)ひろしま産業 振興機構、(公財)広島市産業振興センター	(1)開催場所:広島市まちづくり市民交流ブ ラザ5階研修室、 4階ギャラリー (2)内容 ①第一部 ・基調講演 精神的価値が成長する感性 イノベーション～感性豊かな社会を目指し て～ 講師 農沢隆秀(マツダ(株)技術研究所長) ・研究者講演 視覚的質感の計測・解析と 生成 講師 日浦慎作(情報科学研究科教授) 感情を考慮した対話処理とその応用 講師 目良和也(情報科学研究科助教) ②第二部 マッチングセッション・交流会 出展 42ブース (3)参加者 延べ160人	企業、産学官連携関係機関からの多くの 参加があり、本学の研究成果について広く PRすることができた。	継続実施

平成26年度行動指針に基づく取組実績(一覧)

行動指針	事業名	主体機関	連携機関	平成26年度実施内容	平成26年度に生まれた成果 または自己評価	26年度 (計画)
①	近畿大学工学部産学官連携推進協会	近畿大学工学部	<p>130機関 産：(会員)企業104社(協力機関) 中国経済連合会、東広島商工会議所、広島商工会議所、呉商工会議所、福山商工会議所</p> <p>学： (協力機関)広島大学産学連携センター</p> <p>官：(協力機関)中国経済産業局、広島県、広島県立総合技術研究所西部工業技術センター、同東部工業技術センター、広島市工業技術センター、広島市、東広島市、呉市、福山市、(独)産業技術総合研究所中国センター、(財)くれ産業振興センター、(公財)ひろしま産業振興機構、同福山支所、同広島県産業科学技術研究所、(公財)ちゅうごく産業創造センター、(公財)広島市産業振興センター、(公財)マツダ財団、(社)中国地域ニュービジネス協議会、(一社)発明協会広島県支部、(株)テクノプラザ</p>	<p>○近畿大学工学部産学官連携推進協会総会等 平成26年6月19日(水)、ホテルセンチュリー21広島にて開催 総会・技術発表会・技術交流会を実施</p> <p>○近畿大学工学部研究公開フォーラム2012 平成26年10月27日(月)、メルパルク広島にて開催 特別講演会、パネル展示、本学研究報告・企業技術発表、技術相談、交流会を実施</p> <p>○リカレント講座 平成26年11月1日(土)、8日(土)、15日(土)、近畿大学次世代基盤技術研究所にて開催 社会人を対象に講義を実施</p> <p>○金属積層造形(3Dプリンタ)講演会開催 平成26年12月2日(火)、近畿大学工学部にて開催 地域企業を対象に、講演と金属3Dプリンタの見学会、交流会を実施</p>	<p>研究公開フォーラム2014の参加者は242名(来場者:144名、大学関係者:98名)となり、産学官連携に向けたネットワークの形成につながっている。</p> <p>金属積層造形(3Dプリンタ)講演会の参加者は159名となり、付加製造技術(AM)や3次元デザイン(DFM)、本学の3D造形技術研究センターの取り組みについて周知が図られた。</p>	継続実施
①	文部科学省大学改革推進等補助金(大学改革推進事業)「地(知)の拠点整備事業」イノベーション・ブリッジによるひろしま未来協創プロジェクト(ひろみらプロジェクト)	広島修道大学	<p>11機関</p> <p>産：…広島経済同友会、広島商工会議所、広島青年会議所、広島県中小企業家同友会、中小企業大学校広島校、中国新聞社、ひろしまNPOセンター</p> <p>官：…広島県、広島市、廿日市市、北広島町</p>	<p>本学の教育・研究・社会貢献を好循環させながら、“地域イノベーション人材”を輩出し、地域の活性化に持続的につながっていく仕組みを創り出す。</p> <p>①教育 地域イノベーションコースの開設 ②研究 地域志向のひろみら研究領域の実施、ひろみらシンクタンクの開設 ③社会貢献 地域協創スタジオを活用した地域連携の実施</p>	<p>ひろしま未来協創センターで、教育・研究・社会貢献の3領域を推進することで、広島県域の多様なステークホルダー、外部のサポーターと協働で“地域イノベーション人材”を輩出し、地域の活性化に持続的につながっていく仕組みを創り出すことができた。このプロセスと成果を通して、本学の教育改革を行うべく取り組んだ。</p>	継続実施
②	ひろみらプロジェクトキックオフ・シンポジウム	広島修道大学	<p>5機関</p> <p>産：…広島経済同友会</p> <p>官：…広島県、広島市、廿日市市、北広島町</p>	<p>日時：2014年6月28日(土)10:00～17:15 場所：本学3号館、図書館 第1部：パネルディスカッション 第2部：研究領域の取り組み 第3部：教育領域の取り組み 情報交換会、展示(ひろみらプロジェクト取組紹介、連携自治体からの情報提供コーナー)</p>	<p>シンポジウムを通じて、魅力ある広島であり続けるために、官・産・民・学の連携・協働による地域活性化とイノベーション人材の育成が急務であることが改めて共有され、ワークライフバランスをめざす社会を背景としたイノベーション人材の輩出、イノベーションによる持続可能な広島の創造などについて、参加者とともに考える機会となった。</p>	継続しない

行動指針	事業名	主体機関	連携機関	平成26年度実施内容	平成26年度に生まれた成果 または自己評価	26年度 (計画)
③	ひろみらプロジェクト ひろみらFES2014	広島修道大学	6機関 産:・・・日本経済新聞社、中国新聞社 官:・・・広島県、広島市、廿日市市、北広島町	日時:2015年2月14日(土) 11:00~18:00 場所:本学3号館、図書館 第1部:ポスターセッション 第2部:地域つながるプロジェクト2014成果報告 第3部:ひろみらプロジェクト2014成果報告(オープンスクール、ちいスタ活動、研究領域の報告) 第4部:パネルディスカッション 情報交換会、展示(ちいスタ取組紹介、連携自治体からの情報提供コーナー)	2013年度より展開している、地(知)の拠点整備事業「イノベーション・ブリッジによるひろしま未来協創プロジェクト」の一環として、「ひろみらFES 2014」を本学で開催した。2014年度から「ひろみら研究領域」、「ひろみらシンクタンク」、「地域イノベーションコース」を開設したことをふまえ、ひろみらプロジェクトの成果を報告し、今後の飛躍への鍵を参加者とともに発見する機会を持つことができた。	継続実施
④	地域つながるプロジェクト	広島修道大学	17機関 産:・・・宮島観光協会、特定非営利活動法人 Buen!カミーノ、広島北部若者サポートステーション、はつかいちキャンプ協会、ひろしまNPOセンター、富士通株式会社、永本建設株式会社、うらぶくろ商店街振興組合、NPO法人これからの学びネットワーク、NPO法人自然体験活動推進センター、一般財団法人 どんぐり財団 官:・・・広島県、広島市、廿日市市、総務省中国総合通信局、島根県大田市、山口県岩国市	地域とともに諸課題を調査・研究し解決する活動を通して、学生の主体性や豊かな人間性を育成し、本学の教育目標である「地域社会に貢献できる人材の養成」を目指す。4月に募集を開始し、応募16件の中から14件を採択した。活動は2015年の1月までとした。	地域からの課題や学生による問題提起を始点とした、喫緊の地域課題の解決に、大学での学びを生かしながら取り組むことができた。また、学生は各々の専門分野を生かした社会貢献を通して、社会につながっていることを実感し、近い将来、「地域社会に貢献できる人材」になるための自信と素養を身に付けることができた。	継続実施
⑤	広島修道大学・商工会議所連携事業	広島修道大学、 広島商工会議所	4機関 産:・・・広島商工会議所、広島本通商店街組合、広島市中央部商店街振興組合連合会 民:・・・(社)日本ショッピングセンター協会	日時:2015年2月23日(月) 主催:広島修道大学・広島商工会議所 テーマ:『広島市小売業の今 そしてこれから・・・』～中小事業者の発展の鍵は顧客と交流人口とのつながり～	地域に根差す中小商業者に“今”そして“これから”何が求められているか、消費者購買行動、顧客、交流人口の視点からひも解き「広島市小売業の現状と課題」、「広島市中心部商店街のこれまでとこれから」のお客の変化と接客サービスの講演を行った。特に地域に根差す中小零細小売業者に今、何が求められているのかについて、「顧客とのつながり」と「コミュニケーション」をキーワードに、消費者購買行動から提言を行なった。	継続しない

## 平成26年度行動指針に基づく取組実績(一覧)

行動指針	事業名	主体機関	連携機関	平成26年度実施内容	平成26年度に生まれた成果 または自己評価	26年度 (計画)
⑥	安佐南区・安佐北区 大学・商 工会合同企業説明会	安佐南区役所、安佐北区役所 広島経済大学、広島修道大 学、広島市立大学、広島文化 学園大学・短期大学、安田女 子大学・短期大学、広島文教 大学 祇園町商工会、沼田町商工 会、広島安佐商工会、安古市 町商工会、高陽町商工会	31機関  産：…祇園町商工会、沼田町商工会、広島 安佐商工会、安古市町商工会、高陽町商工 会、安佐南区・安佐北区内の商工会会員で、 今年度の採用を予定している企業19社 官：…広島市 学：…広島修道大学、広島経済大学、広島 市立大学、広島文化学園大学・短期大学、安 田女子大学・短期大学、広島文教女子大学	(1) 学生向けプレセミナー(13:00~13:25) 企業説明会の開始前に、参加学生を対 象に企業とのコミュニケーションレーニ ングや企業回りのポイントなど、専門のキャ リアカウンセラーがアドバイスをを行う。 (2) 企業との個別面談会(13:30~16:30) 学生と企業との出会いの場として、各 企業が学生に対して会社概要等の資料を 提示、配布するなどして自社の説明・PR を行う。 (3) リクルートよろず相談(13:30~16:30) 企業説明会開催中に、学生の就職活 動全般の悩み事や疑問等に対して、アド バイザーが個別相談に応じる。	大学生の就職環境が厳しい状況にある中 で、地元での就職希望や優秀な人材の確 保など学生と企業双方のニーズに応える ため、安佐南区及び安佐北区内の6大学 及び5商工会と連携した合同企業説明会 を開催した。参加大学生は、27名で、就職 に結びついた学生は男子学生1名であっ た。平成24年度実績は学生70名、企業16 社が参加し、うち学生7名の就職が決定し ている。平成25年度実績は学生67名、企 業15社が参加し、うち学生6名の就職が決 定し成果が出ている。	検討中
①②③	文部科学省大学改革推進等補助 金(大学改革推進事業) 平成26年度「地(知)の拠点 整備事業」	広島商船高等専門学校	18機関  産：公益財団法人日本離島センター、大崎上 島町教育委員会、大崎上島町商工会、大崎 上島町地域協議会、木江地区造船海運振興 協議会、大崎上島町社会福祉協議会、大崎 上島町医師会、大崎上島町観光協会、広島 ゆたか農業協同組合、大崎上島町有害鳥獣 駆除対策協議会、NPO法人かみじまの風、 広島商船高等専門学校産業振興交流会、中 国電力株式会社  学：広島国際大学、広島文化学園大学  官：大崎上島町、広島県、海上保安庁呉海上 保安部	① 地域に貢献できる人材の育成 ② 離島課題と本校の研究をマッチングに よる、生活向上と産業振興 ③ 地域産業界の人材育成支援 ④ 成果を情報発信・共有し、全国離島の 課題解決に貢献 以上を目的に、 ・本校教員と大崎上島町役場職員と共同 で地域課題研究 ・障がい者や高齢者への、学生主体によ るレクリエーション等を通じた支援事業 ・学生への地域志向授業 等の事業を行った。	H26年度は5年間予定の事業2年目の取り 組みとして、教育改革(地域志向科目の実 施)、研究推進(ワークショップによる地域 研究のテーマの絞り込み、予備調査)、及 び社会貢献事業を行い、地域に貢献でき る高等教育機関となる礎を築いた。地域 貢献事業の特徴ある事業では、地域のイ ベント、障がい者・お年寄りとの交流等 を行った。学生の参加人数も初年度から増 加し、分野も島内を中心に多岐にわたり、 地元自治体からも評価を受けた。	継続実施
①	(公財)ひろしまベンチャー育 成基金の運営	(株)広島銀行 (事務局)	産：広島県商工会議所連合会、広島県商工 会連合会ほか 学：広島大学、県立広島大学、広島市立大 学、広島修道大学、広島工業大学、広島経 済大学 官：広島県、広島市 金：もみじ銀行、広島信用金庫、広島市信 用組合	「第21回ひろしまベンチャー助成金」事業	19先(一般枠11先、学生枠8先)に対して 合計1,855万円を助成	継続実施
①	「包括的連携協力に関する協 定書」の締結	株式会社もみじ銀行	学：県立広島大学	相互に連携して地域の産学官連携を推進 し、地域経済の発展に寄与することを目的 として「包括的連携協力に関する協定書」 を締結。	平成26年10月に「包括的連携協力に関す る協定書」を締結。以降双方で情報交換 会議を継続して開催する等の連携体制を 構築。	継続実施



## 平成26年度行動指針に基づく取組実績(一覧)

行動指針	事業名	主体機関	連携機関	平成26年度実施内容	平成26年度に生まれた成果 または自己評価	26年度 (計画)
①	「包括的連携協力に関する協定書」の締結	株式会社もみじ銀行	学：広島修道大学	相互に連携して地域の産学官連携を推進し、地域経済の発展に寄与することを目的として「包括的連携協力に関する協定書」を締結。	平成27年3月に「包括的連携協力に関する協定書」を締結。以降双方で情報交換会議を継続して開催する等の連携体制を構築。	継続実施
①	広島県信用金庫合同ビジネスフェア	呉信用金庫・広島信用金庫・しまなみ信用金庫・広島みどり信用金庫	<p>・・機関</p> <p>産：・・・県内4信用金庫の取引先中小企業 学：・・・近畿大学・広島国際大学・広島文化学園・広島大学・県立広島大学・広島市立大学 官：・・・中国経済産業局・広島県・(独法)科学技術振興機構</p>	平成26年11月26日に広島グリーンアリーナにて、第9回広島県信用金庫合同ビジネスフェア2014を開催	平成27年3月末時点の総商談件数は4,687件、総商談成立件数126件。商談件数に増加傾向が窺えるが、成約件数は減少傾向にあるため、商談成約件数増加に向けた対策を講じ、次回開催に臨む	継続実施
①	くれしん経営アカデミー	呉信用金庫	<p>・・機関</p> <p>産：・・・取引先中小企業 学：・・・広島大学 官：・・・中国経済産業局</p>	平成26年9月～平成27年1月の全5回の日程で、広島地区の当金庫取引先企業を中心に、くれしん経営アカデミーを開催	若手経営者に経営学研鑽や人脈形成の機会を創出して、今後の経営に役立ててもらえた。	「くれしん創業支援セミナー」として、創業者支援に特化したセミナーを開催予定
①	産業活性化、地域振興等に関する調査事業及びフォローアップ事業	(公財) ちゅうごく産業創造センター	<p>産・学・官の有識者をもって構成する委員会により調査・審議</p> <p>産：賛助会員企業により推薦された有識者 学：調査テーマに識見を有する中国地域等の大学の教授・准教授 官：国・地方自治体</p>	【テーマ】 1. 製造業における省力・自動化(ロボット)技術導入並びに地域産業人財活用のための人材プラットフォーム構築に係る方策検討調査 2. シェールガス革命による石油化学産業等への影響可能性調査 3. 都市機能向上のための都市施設のリニューアルに関する調査 4. 高齢化社会におけるユニバーサルツーリズムを軸とした観光振興施策の検討調査	左記の4テーマについて、課題の抽出及び提言を取りまとめた報告書を作成した。	4テーマにかかる提言内容の実現化に向けて助成・支援及び新たな調査事業の継続
①	ネットワーク構築支援事業 1. 技術事業化交流会	(公財) ちゅうごく産業創造センター	産：公募により参加する中国地域の企業 学：シーズ情報を提供いただく中国地域の大学の教授、准教授等 官：中国経済産業局、県、公設試	医療福祉機器、電子デバイス、植物工場、環境・エネルギーの4分野で計14回研究交流会を実施し、情報提供やシーズ・ニーズの出会いの場を提供した。	累計1000名の参加者があり、内容の満足度は86%であった。	継続実施
①	ネットワーク構築支援事業 2. 事業化検討会	(公財) ちゅうごく産業創造センター	産：公募により参加する中国地域の企業 学：中国地域の大学の教授、准教授等 官：中国経済産業局、県、公設試	<p>・事業化検討会を医療福祉機器、植物工場、電子デバイス、環境エネルギー、機能性食品で計9回実施。</p> <p>・技術事業化交流会でマッチングの出来た案件について5回の検討会を実施。</p> <p>・「質感・色感」について、研究会を9回、講演会・工場見学会・成果発表会を各1回開催した。</p>	<p>・「新産業創出研究会」のテーマとして、2件が採択された。</p> <p>・「質感・色感」については、研究課題を解決し、上市した企業メンバーが3社あった。</p>	分野を見直しのうえ継続実施

## 平成26年度行動指針に基づく取組実績(一覧)

行動指針	事業名	主体機関	連携機関	平成26年度実施内容	平成26年度に生まれた成果 または自己評価	26年度 (計画)
①	研究開発プロジェクト推進支援事業 1. 新産業創出研究会	(公財) ちゅうごく産業創造センター	産: 中核企業は中国地域の企業で、1社以上の参加 学: 大学、高専 官: 中国経済産業局、県、公設試等	地域の新産業創出を目指して、大学・高等専門学校の研究シーズをもとに、企業の事業化の視点から技術開発課題・商品開発課題を解決。 採択件数: 15件(研究費総額: 1500万円) 内訳: 岡大(4) 広大(3) 山大(2) 鳥大(1) 島大(1) その他(4)	上市に向けた試作品の完成: 3件 次ステップへの応募: 4件	継続実施
③	研究開発プロジェクト推進支援事業 2. ビジネスマッチング交流会	(公財) ちゅうごく産業創造センター	産: (一社) 中国地域ニュービジネス協議会 官: 中国経済産業局	これまでに終了した新産業創出研究会のテーマの中から、商品化または試作品など事業化に進んだ案件5件を選定のうえ実施した。 日時: 平成27年1月27日13:30~17:00 会場: 広島グランドインテリジェントホテル 参加人数: 68名	交流会開催時および終了後、参加者から発表者に対して、数件の問合せ・相談実績があった。	継続実施
③	情報発信・啓発事業 1. 産業創出講演会	(公財) ちゅうごく産業創造センター	産: 中国経済連合会、(公財) 中国電力技術研究財団、(一社) 中国地域ニュービジネス協議会 官: 中国経済産業局、(独) 科学技術振興機構JSTイノベーションプラザ広島、(独) 中小企業基盤整備機構中国支部、(独) 産業技術総合研究所中国センター、(財) 鳥取県産業振興機構、(公財) しまね産業振興財団、(財) 岡山県産業振興財団、(公財) ひろしま産業振興機構、(財) やまぐち産業振興財団	講演: 「宇宙航空分野の技術革新 宇宙航空分野の技術革新～そして、イプシロンケットの打ち上げ」 日時: 11月19日 14:30~(広島) 11月20日 13:30~(岡山) 講師: IHエアスペース 取締役 牧野 隆氏	いずれも、募集定員を上回る参加者があった。	継続実施
①	事業化促進支援事業 1. 技術事業化評価事業	(公財) ちゅうごく産業創造センター	20機関 産: (一社) 中国地域ニュービジネス協議会、経営コンサルタント、弁理士 学: 広島大学 官: 中国経済産業局 金: 中国地域内の15金融機関		金融機関等から同事業の引き合いはなかった。	継続実施

行動指針	事業名	主体機関	連携機関	平成26年度実施内容	平成26年度に生まれた成果 または自己評価	26年度 (計画)
①②③	やまぐち事業化支援・連携コーディネート会議	(公財) やまぐち産業振興財団・山口大学	<p><b>26機関</b></p> <p>産：(有)山口ティー・エル・オー、周南新商品創造プラザ、(一社)山口県技術交流協会、(公財)周南地場産業振興センター、(公財)山口・防府地域工芸地場産業振興センター、NPO法人山口県アクティブシニア協会、瑞穂総合コンサルタント、(株)日本政策金融公庫、(株)西京銀行、(一財)山口経済研究所</p> <p>学：山口大学、(独)水産大学校、山口県立大学、山口東京理科大学、香川学園、徳山大学、宇部高専、徳山高専、大島商船高専</p> <p>官：(公財)ちゅうごく産業創造センター、(一社)中国地域ニュービジネス協議会、宇部市、(地独)山口県産業技術センター、(一社)山口県発明協会、山口県、(公財)やまぐち産業振興財団</p>	<p>1 平成26年度定時総会 (1)開催：平成26年6月10日(火) (2)場所：セントコア山口(山口市) (3)内容： ①平成25年度事業報告について ②平成26年度事業計画(案)について ③役員の変更について ④その他 (4)講演会等 ①基調講演 ②事例発表(2企業)</p> <p>2 幹事会及び第15回企画運営委員会 合同会議 (1)開催：平成27年3月17日(火) (2)場所：山口大学大学研究推進機構(宇部市) (3)内容： ①平成26年度事業報告について ②平成27年度事業計画案について ③その他</p> <p>3 コーディネータ連絡会議 「平成26年度 第1回コーディネータ連絡会議」 (1)開催：平成26年5月22日(木) (2)場所：東ソークラブ(周南市) (3)内容： ①会社、新商品新技術紹介 ②特別講演</p> <p>「平成26年度 第2回コーディネータ連絡会議」 (1)開催：平成26年10月15日(水) (2)場所：宇部高専地域共同テクノセンター(宇部市) (3)内容： ①宇部高専の産学連携活動紹介 ②見学会</p> <p>「平成26年度 第3回コーディネータ連絡会議」 (1)開催：平成26年11月11日(火) (2)場所：東ソークラブ(周南市) (3)内容： ①会社紹介、新商品・新技術紹介 ②特別講演</p>	<p>1 多くの企業との交流を目的に地域の産学公関係者による情報交換、交流等の場である「キューブサロン」、「周南新商品創造プラザ」及び「宇部高専テクノカフェ」との合同開催を実施した。</p>	継続実施

平成26年度行動指針に基づく取組実績(一覧)

行動指針	事業名	主体機関	連携機関	平成26年度実施内容	平成26年度に生まれた成果 または自己評価	26年度 (計画)
①	産学官共同研究：経産省戦略的 基盤技術高度化支援事業（サポ イン）	地方独立行政法人山口県産業 技術センター 公益財団法人やまぐち産業振 興財団	①テーマ1 産：萩ガラス工房有限会社、他 学：山口大学（アドバイザー） 官：（地独）山口県産業技術センター 官：（公財）やまぐち産業振興財団  ②テーマ2 産：J R C S株式会社 産：株式会社アイデンビデオトロンクス 学：学校法人早稲田大学 官：（地独）山口県産業技術センター  ③テーマ3 産：有限会社デジタル・マイスター 産：有限会社ハイテクラボ 学：山口大学（アドバイザー） 官：（地独）山口県産業技術センター  ④テーマ4 産：株式会社広島企業、他 学：山口大学（アドバイザー） 官：（地独）山口県産業技術センター 官：（公財）やまぐち産業振興財団	①テーマ1:新しいモジュール構造による 安価・長寿命で高性能な水処理用セラミッ クフィルターの開発  ②テーマ2:電波が使い難い環境下におい てLED照明光通信技術を用いて複数端末 が同時接続可能な光無線LANを実現す るための組込みソフトウェアの高度化  ③心拍揺らぎと呼吸から日常生活の中で ストレス状態を手軽に知ることが出来る携 帯型評価装置とクラウドサービスを実現す るための組込みソフトウェアの高度化に関 する研究  ④ケナフ繊維複合ボード端材と容器包装 リサイクルプラスチックの複合化による低 コスト高強度射出成形自動車部材の開発	鋭意研究開発中。研究成果は非公開。	継続する
①	地域イノベーション戦略支援プ ログラム（研究機能・産業集積 高度化地域）	地方独立行政法人山口県産業 技術センター（総合調整機 関）	官：（地独）山口県産業技術センター 学：山口大学 学：山口東京理科大学 学：岡山大学 産：県内企業、他	石油・石炭化学コンビナートを中心に育ん できた山口県特有の「せとうち・ものづくり 技術基盤(ケミストリー、部材・素材、中小 ものづくり技術)」を、これらと親和性のある「環境・エネルギー」及び「医療関連」分 野に活用し、新たな成長産業の育成・集積 を図る。産学公金が一体となって、域外か らの情報・人材・投資等呼び込み、共同 研究開発、内発展開、企業誘致等を誘発 することにより、持続的なイノベーションを 創出する。	鋭意研究開発中。研究成果は非公開。	継続する
①	公設試と金融機関の連携による 企業訪問の実施	地方独立行政法人山口県産業 技術センター 山口銀行	官：（地独）山口県産業技術センター 金：山口銀行	山口県産業技術センターと山口フィナン シャルグループは、地域産業の振興及び 発展を目的に包括連携協定を締結してい る。この協定を実効性のある取組とするた め、山口県産業技術センターと山口銀行 は共同で企業訪問を行い、技術と経営の 両面から企業支援を行う活動を実施した。	共同で16社の企業を訪問し、平成26年 度補正ものづくり・商業・サービス革新補 助金(公募×切平成27年5月8日)への 応募案件の掘り起こしに繋がった。	継続する

平成26年度行動指針に基づく取組実績(一覧)

行動指針	事業名	主体機関	連携機関	平成26年度実施内容	平成26年度に生まれた成果 または自己評価	26年度 (計画)
①	やまぐち事業化支援・連携コーディネート会議	公益財団法人やまぐち産業振興財団 山口大学	26機関 産:(有)山口ティー・エル・オー、周南新商品創造プラザ、(一社)山口県技術交流協会、(公財)周南地域地場産業振興センター、(公財)山口・防府地域工芸地場産業振興センター、NPO法人山口県アクティブシニア協会、瑞穂総合コンサルタント、(株)日本政策金融公庫、(株)西京銀行、(一財)山口経済研究所 学:山口大学、(独)水産大学校、山口県立大学、山口東京理科大学、香川学園、徳山大学、宇部工業高等専門学校、徳山工業高等専門学校、大島商船高等専門学校 官:(公財)ちゅうごく産業創造センター、(一社)中国地域ニュービジネス協議会、山口県、宇部市、(地独)山口県産業技術センター、(一社)山口県発明協会、(公財)やまぐち産業振興財団	○定時総会 日時:平成26年6月10日(火)14:00-16:50 場所:セントコア山口 内容:平成25年度事業報告、平成26年度事業計画(案)等  ○幹事会及び第15回企画運営委員会 日時:平成27年3月17日(火)14:00-15:30 場所:山口大学大学研究推進機構 内容:平成25年度事業報告、平成26年度事業計画(案)等  ○コーディネータ連絡会議 ・第1回コーディネータ連絡会議(周南新商品創造プラザとの合同開催) 日時:平成26年5月22日(木)13:30-18:50 場所:東ソークラブ 内容:山口大学シーズ発表  ・第2回コーディネータ連絡会議(宇部高専テクノカフェセミナーとの合同開催) 日時:平成26年10月15日(水)15:30-18:10 場所:宇部高専 地域共同テクノセンター 内容:宇部高専の産学連携活動の紹介等  ・第3回コーディネータ連絡会議(周南新商品創造プラザとの合同開催) 日時:平成26年11月11日(火)13:30-18:50 場所:東ソークラブ 内容:徳山高専シーズ発表  ・第4回コーディネータ連絡会議(キューブサロンとの合同開催) 日時:平成27年1月21日(水)18:30-20:30 場所:宇部興産ビル 内容:山口大学生命医工学センター(YUBEC)の紹介	地域企業の多く集まる「キューブサロン」、「周南新商品創造プラザ」との合同開催に加え、宇部高専のテクノカフェとも合同開催を実施して、企業との情報交換や交流を密にできた。地域企業からの技術相談など産学連携への広がりが期待できる。	継続実施
①	共生研究(COC事業)	山口県立大学	6機関 産:山口商工会議所、山口県立総合医療センター 官:山口県、山口市、防府市、岩国市	山口県の直面する政策課題の解決に資する研究プロジェクトを実施した。研究課題は「健康福祉社会づくり研究」「ライフイノベーション研究」「やまぐち学研究」の3本。	健康福祉社会づくり研究:地域包括ケアシステムの効果的な展開には、地域包括支援センターのあり方が重要であること明らかにし、その運営法を確立した。 ライフイノベーション研究:サービスデザインの有用性と可能性を普及・啓発するため、連携機関とともに看護師のユニフォームを設計した。 やまぐち学研究:山口県の環境保全にかかると同時に、隠れた観光資源を発掘した。	継続
①	徳山高専テクノ・アカデミア事業	徳山高専	会員企業31社	徳山高専産学交流会ほか	地域に根ざした産学官連携活動の定着	継続実施